

津生協病院だより

2011年10月発行
第27号（秋号）

みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院
三重県津市船頭町津興1721番地
TEL 059-225-2848 (代) / FAX 059-225-2922
<http://www.tsucoop.jp>



撮影：写友会 古田 一見

津生協病院 医療・福祉宣言

【基本理念】

私たちは、患者さまの権利を尊重し、地域から信頼される医療機関をめざします。

【基本方針】

1. 私たちは、安全・安心で患者さまの納得のいく医療を進めます。その実現のために技術の向上と環境の整備を進めます。
2. 私たちは、差別のない医療・福祉の実現をめざし、社会保障制度充実の運動を進めます。
3. 私たちは、命が大切にされる戦争のない平和な社会を実現する運動を進めます。
4. 私たちは、地域住民や組合員の皆さまとともに、安心して住み続けられる街づくりを進めます。

リハビリテーション科の紹介

住みなれた地域で、

障がいをもつ方の生活を支えるための役割と部門間連携

理学療法士 松阪美樹

当院のリハビリテーション科には理学療法、作業療法、言語聴覚療法を行うために、理学療法士9名、作業療法士4名、言語聴覚士2名の計15名が、また附属診療所には理学療法士4名、作業療法士1名、鍼灸マッサージ師1名の計6名が従事しています。

当院では、**脳血管リハビリテーション**(脳梗塞などの脳血管疾患や神経系疾患など)、**廃用リハビリテーション**(療養中に長期の寝たきりにより生じる体力低下が起こる廃用症候群)、**運動器リハビリテーション**(骨折や関節炎、骨粗鬆症など)、**呼吸器リハビリテーション**(肺気腫や急性肺炎など)を実施しています。また附属診療所では、主に**運動器リハビリテーション**の医療分野と**通所リハビリテーション**(デイケア)や**訪問リハビリテーション**の介護分野を行っており、院所をまたいでさまざまな疾患の患者様にリハビリテーションを実施しています。



【津生協病院リハビリテーション科】

リハビリテーションはできるだけ早期に、早ければ病気になった翌日から開始します。



【附属診療所リハビリテーション室】

スタッフは、患者様の個々の状態や能力に合わせた効果的なリハビリテーションを提供するために、筋力や関節の硬さのチェックなどの他に日常生活に必要な食事・トイレ・入浴などの動作能力、認知面など、多角的な評価を行います。その上で関節可動域や筋力などの機能的トレーニングや食事や入浴の場面に立ち会って指導、助言などをしたり、リハビリテーション室の台所で工夫した器具を用いて野菜炒めを調理するといった家事動作を実際に行ってみるなど、患者様が障がいを克服してできるだけ早期にもとの生活に戻ることや社会復帰することを目指します。

そのために我々スタッフ一同は、当院、附属診療所、各部門間の連携を大切にしています。具体的に、院内では入院初期から主治医をはじめ、看護師、介護士、医療ソーシャルワーカーなど他部門のスタッフを交えて、病気の経過を予想し、在宅の生活などをイメージしながらのカンファレンス(打ち合わせ)を定期的に行っています。

…それぞれの担当業務…

理学療法士 (PT) …… 主に「立つ」「歩く」等の基本動作を担当

作業療法士 (OT) …… 「服を着る」「調理をする」等の応用動作を担当

言語聴覚士 (ST) …… 「コミュニケーション」や「摂食」「嚥下(飲み込み)」等の動作を担当

また退院前には、スムーズに自宅退院ができるよう、必要に応じてご本人様やケアマネージャー（介護支援専門員）らとともに患者様のお宅を訪問し、自宅での福祉用具の使い方や移動の仕方、手すりの設置場所などのアドバイスを行っています。そして、退院後もリハビリテーションの継続が必要な方には、当院での外来や附属診療所の外来リハビリテーションの利用にもつなげて身体能力の維持に努めています。

このように、退院後も患者様に関わる多職種のスタッフと連携して在宅サービスを提供するために、当リハビリテーション科との情報共有のシステムをつくり、入院から退院までスムーズで切れ目のないリハビリテーションを提供することで住み慣れた地域での生活を支えていきたいと思っております。



第6回地域医療介護連携学習会を開催しました・・・

7月21日（木）に地域医療連携学習会を開催しました。

- 講演① 『救急医療 三重県での展開』
講師：三重大学医学部附属病院
救命救急センター長・教授 今井 寛 先生
- 講演② 『呼吸器疾患の栄養サポート』
講師：津生協病院院長 宮崎 智徳



今回は、本年4月に三重大学医学部附属病院に救命救急センター長・教授として就任されました今井先生から、現在社会問題にもなっている救命救急医療について講演をいただきました。

今井先生の救命救急医療に対する熱い志と、三重県での救急医療の現状・課題の分析から、近い将来のドクターヘリシステムなど、今後の展開にむけての先生の大きな構想を聞かせていただくことができました。。



次回の地域医療連携学習会は、10月27日（木）に予定しています。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

当院ホームページをリニューアルしました！

・・・是非、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.tsucoop.jp>

